

## 令和4年度第1回羽島市環境審議会 会議要旨

日 時	令和4年11月17日（木）午前10時から11時13分まで
場 所	羽島市役所 3階 301会議室
出席者	<p>&lt;審議会委員&gt; 10名          細野光章委員、高橋利行委員、渡辺憲治委員、岩田悟委員、          八代英彦委員、山中一悦委員、野田富子委員、不破直子委員、          青木きの委員、南谷里奈委員</p> <p>&lt;事務局&gt; 10名          松井市長、高橋生活環境部長、番生活環境部環境事業課専門官、          豊田生活環境部次長兼生活環境課長、安田環境事業課長、諏訪環          境プラント所長、伊藤生活環境課主幹兼課長補佐兼環境対策係長、          小池環境事業課長補佐、山田生活環境課環境保全係長、山木田生          活環境課主任</p> <p>&lt;傍 聴&gt;傍聴者：なし</p>
内 容	<p>1. 開会          (資料確認)</p> <p>(出席委員数の報告)          委員12名中、10名の出席を得ており、羽島市環境審議会運          営要綱第3条第3項の規定により会議が成立していることを報告          した。</p> <p>(委員紹介)          本年度より新たに委員となった2名の委員を紹介した。</p> <p>(情報公開)          審議会は原則公開することとなっているため、会議要旨を後日、          羽島市ホームページにおいて公開することを報告した。</p> <p>(傍聴者報告)          傍聴の希望がなかったことを報告した。</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 報告          (1)「羽島環境基本計画の進捗状況」について          事務局より資料に基づき説明</p> <p>&lt;質疑応答&gt;          会 長： 事務局より進捗状況の説明を受けて、何か気づいた点          等あれば、発言していただきたい。          委 員： 不法投棄の発生件数について、家庭系ごみ有料化に伴          い増えるのではないかとの議論が過去にあったかと思う</p>

内 容	<p>が、実績値を見ると増えている。有料化後、有料化前から継続して発生しているのか。</p> <p>事務局： 令和3年度の不法投棄は220件であるが、ごみ集積場に出されたルール違反のものも含んでいる。不法投棄は51件、粗大ごみは46件であり、令和4年度も変わっていない。</p> <p>排出方法が変わったこともあり、ルール違反のごみが増えている状況であったので、市民に対してPRし、ごみの排出ルールを周知していくよう努めている。</p> <p>委員： 有料化後、集積所に出されるごみ袋は1世帯1袋に減っていると感じられる。リサイクルできる紙や食料ごみが集積所に捨てられているのを見ると、個人が責任をもって出すようにできるとよい。有料化して、とてもよかったなど感じる。</p> <p>他地域から違う班の集積所に置いておくというルール違反も見られる。</p> <p>事務局： 有料化後、容量が大のごみ袋より中のごみ袋が増えていると感じている。</p> <p>他地域から持ち込まれるごみの相談を自治会から受けているので、申請によって、ラミネート加工した警告看板を渡し、集積所に掲示してもらうという活動支援をしている。</p> <p>市長： ごみ袋は、縛りやすい漏れないものとした。</p> <p>ごみ袋の販売について、市で一括買上げをする方式ではなく、各民間業者が適正価格で販売する方式にしているが、金額に差があるという意見がある。</p> <p>また、児童・生徒を中心に、家庭で食品ロスを防ぐ運動をしている。</p> <p>委員： 市から小・中学校に対して、環境学習に関わる副読本の配布や出前講座等を開催してもらえてありがたい。</p> <p>どの学校でも環境学習を積極的に行い、教科書・iPadを活用し、自分事と捉えて学習できるので、継続して活用していく。</p> <p>子どもたちに環境のよさを教えることは、どの学校でもやっている。SDGs・地球温暖化・資源回収の活動を行う中で、環境問題に気づき、考え、子どもたちができることを提案・行動・参画しながら、よりよい環境に向け取り組んでいる。</p> <p>(2)「羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗状況」</p>
-----	---

について

事務局より資料に基づき説明

<質疑応答>

会 長： 事務局より進捗状況の説明を受けて、何か意見・感想等あれば、発言していただきたい。

委 員： 2050年までにゼロカーボンを目指すことになると吸収量を確保する対策が必要だと思うが、市の考えを教えてください。

羽島市のような平野部が多い地形だと、ゼロにすることは難しいと思うが、何か独自の取組みがあれば教えてください。

資料1より、公用車のガソリン使用量が大変削減できていると感じるが、具体的な取組みを教えてください。

事務局： 2年ほど前に公用車の寄付があり、低燃費の車に変わったこと、コロナ禍の影響により車の使用が減ったことが要因であると認識している。

ゼロカーボンについては、市には森林・山がないので吸収に対する対策を特に行っていない。また、現在、他市との協定でカーボンオフを導入する予定はない。

市 長： 羽島市のように平坦地で太陽光発電等を利用してもらう啓発しかできない自治体は、エネルギーを蓄える自治体と使う自治体の自治体連携・地域連携を県や国にリードしてもらうことで、目標達成へのハードルが緩和されると思っている。

県にも相談しながら、山間地との連携について模索していきたい。

(3)「家庭系ごみ有料化の現状」について

事務局より資料に基づき説明

<質疑応答>

会 長： 新たな粗大ごみの排出方法について、意見を聞かせていただきたい。

委 員： 現在、生ごみは減っていると思うが、資源物であるプラスチックと紙類は増えているのか。もし、増えているのであれば、有料化した意義があったと思う。市民の分別する意識によりリサイクルに回っていると考えられるが、いかがか。

事務局： プラスチック類に関して、令和2年度と3年度ではともに増え、4年度も増えている。可燃ごみが減っている

ので、プラスチック類として出していると考えている。

委員：粗大ごみの搬入場所が舟橋町の搬入施設1か所なので、市の端の方の家庭は遠いし、軽トラックがない人は搬入することが困難だと思うが、いかがか。

事務局：岐阜市を参考にすると、面積も広く山間部もあるが、粗大ごみの搬入場所は3か所である。しかし、羽島市は平坦地であり、車で運ぶと30分以内で運べると考えているので、現在は市の中心部である舟橋町で回収をしている。南部と北部に分けることは理想であるが、場所の確保が難しいので、今は考えていない。

先ほどのプラスチック類の補足だが、容器包装プラスチックは令和2年度470tだったが、令和3年度735tに、その他プラスチックは190tから260tに増えている。有料化後、分別が進んでいると認識しているので、今後も分別の協力をお願いしたい。

委員：ペットボトルをスーパーマーケットの回収BOXに持っていくが、月2回ある市の回収に出した方がよいか。

事務局：ペットボトルは市で収集したものは、市の収入になる。また、カンやビンも市の収入になるので、集積場所に出してもらいたい。

委員：粗大ごみの戸別収集について、市民がお願いしたら来てもらえるのか、対象が75歳以上の世帯なのか、子どもがいる世帯もよいのか、容量や費用もどうなのかと思う。戸別に対応してもらえるのはよいと思う。

先ほどの温暖化について、市からのエコカー補助金は考えているのか。環境に配慮すると、羽島市はよい土地なので、自転車道の整備も進めてもらおうと自転車の人口が増えると思う。

事務局：粗大ごみの戸別収集について、依頼者のところへ直接伺う収集方法を考えている。ただ、現在、直接搬入が順調に行われているので、「面倒だ」との理由で、戸別収集を依頼されるのは避けたい。対象をどうするかが課題であると考え。

エコカー補助金については、財政的なこともあり、今は考えていない。

市長：リサイクルステーションについて、岐阜市は3か所だと聞いているが、他の近隣自治体では複数あると聞いていない。羽島市は面積が狭いので、足近町から桑原町まで行っても30分ほどである。現在は、市の中心部にあ

る施設を利用している。

今後、電気自動車が主要へと変わっていく可能性はあるが、市独自のエコカー補助金は難しい。

粗大ごみの戸別収集について、回数や数量制限等を検討している。

委員：粗大ごみの戸別収集について、バリアフリーにすると大変なことになると思う。

4. 閉会